

先延ばしの簡便なタイプ分類方法の開発 (2) —短縮版尺度の作成と信頼性・妥当性の検討—

○高田 治樹 (目白大学)

小浜 駿 (宇都宮共和大学)

キーワード: 先延ばし, 尺度作成, 項目反応理論

問題と目的

小浜・高田 (2018) では、先延ばし意識特性尺度によるタイプ分類を行い、回答者が「計画群」, 「計画切り替え群」, 「楽観群」, 「否定感情群」の 3 群に分類された。また決定木分析の結果から、タイプ分類に有効な変数としては、「状況の楽観視」, 「先延ばし中の肯定的感情」, 「先延ばし後の否定的感情」の 3 下位尺度であることを明らかにした。

本研究では、タイプ分類をより簡便にするために、小浜・高田 (2018) でタイプ分類に有効であると判断された 3 下位尺度の短縮版尺度を作成することを目的とした。

方 法

分析対象者 本研究では、小浜 (2010; 2012; 2014) で分析対象となった大学生 748 名を分析対象者として再分析を実施した。

分析項目 (1) 先延ばし意識特性尺度のうち、小浜・高田 (2018) で、タイプ分類に有効であると判断された「状況の楽観視」, 「先延ばし中の肯定的感情」, 「先延ばし後の否定的感情」の 3 下位尺度を用いた。(2) 小浜 (2012; 2014) のタイプ分類手続きに用いられた先延ばし特性尺度である J-GPS (林, 2007) と決断遅延 (Decisional Procrastination, 以下 DP と表記; 宮元, 1997) を用いた。どちらの尺度も五件法で測定され、得点が高いほど遅延を行いやすいことを示す。

結果と考察

短縮版尺度の作成 回答者の分類に必要と判断された 3 変数の短縮版を作成するために、項目反応理論 (Item Response Theory; 以下, IRT とする) に

基づき、尺度の短縮版を作成した。

まず、「状況の楽観視」, 「先延ばし中の肯定的感情」, 「先延ばし後の否定的感情」の下位尺度それぞれの一次元性を確認するために、因子分析(重みづけ最小二乗法, 回転なし)を行った。いずれも一次元性が満たされていると判断された。次に、各下位尺度の項目パラメタを一般化部分採点モデル (Generalized Partial Credit Model; GPCM) によって推定した。項目の選定では、(a) 項目パラメタの推定値の範囲が原版とほぼ同一となる、(b) 項目内容が網羅的となる、を基準とし、各下位尺度から各 3 項目を暫定的に選定した。結果を Table 1 に示す。

信頼性と妥当性の検証 短縮版尺度の信頼性と妥当性を四点から検討した。第一に、3 つの短縮版尺度の信頼性係数を算出した結果、「状況の楽観視」は $\alpha=.88$, $\omega=.88$, 「先延ばし中の肯定的感情」は $\alpha=.68$, $\omega=.70$, 「先延ばし後の否定的感情」は $\alpha=.86$, $\omega=.86$ であった。第二に、テスト情報量の減少率を検討した結果、「状況の楽観視」は 68.0%, 「先延ばし中の肯定的感情」は 62.8%, 「先延ばし後の否定的感情」は 79.5% であった。第三に、短縮版の下位尺度と対応する原版の下位尺度との相関係数は、 $r=.93-.97$ と高い相関係数を示していた。第四に、原版尺度と同様に算術平均を尺度得点として算出し、GPS および DP との相関係数を算出した。その結果、3 つの下位尺度すべてで、原版と短縮版ならびに GPS と DP の相関係数のパターンが類似していた。

Table 1 各下位尺度における項目の困難度と識別力

		困難度				識別力
		C1	C2	C3	C4	
先延ばし後の否定的感情						
課題を先延ばしにした自分を振り返って、よく自己嫌悪に陥る		-1.69	-0.84	-0.45	0.61	3.05
なぜ課題をこんなに先延ばしにしてしまったのかと思うことが多い		-1.77	-0.87	-0.58	0.60	2.17
課題をしていなかったことに気づいたときには焦ってしまう		-2.26	-1.39	-1.20	0.48	1.03
状況の楽観視						
課題の準備を先延ばししても大丈夫だと思うことが多い		-1.80	-0.62	-0.43	0.94	1.90
後で課題をやればいいと楽観的に考えやすいほうだ		-1.59	-0.75	-0.36	0.62	3.53
課題に対しての見通しが甘いことが多い		-2.64	-0.93	-0.66	0.75	1.02
先延ばし中の肯定的感情						
課題をせずに遊んでいるときに、開放感を感じるほうだ		-1.43	0.56	0.48	1.30	0.88
試験期間中でも、課題をやっていないときは気楽であると感じる		-1.24	0.15	0.38	1.58	1.23
やるべき課題から目をそむけると、一時的にせよほっとする		-2.18	-0.33	0.50	2.01	0.79

(注) 項目番号横の○印は短縮版で採用した項目であることを示す。